

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

# 菰野町地域公共交通会議 (菰野町)

平成20年4月23日設置

平成28年6月29日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和6年3月29日 菰野町地域公共交通計画策定

(計画期間：令和6年4月～令和11年3月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業

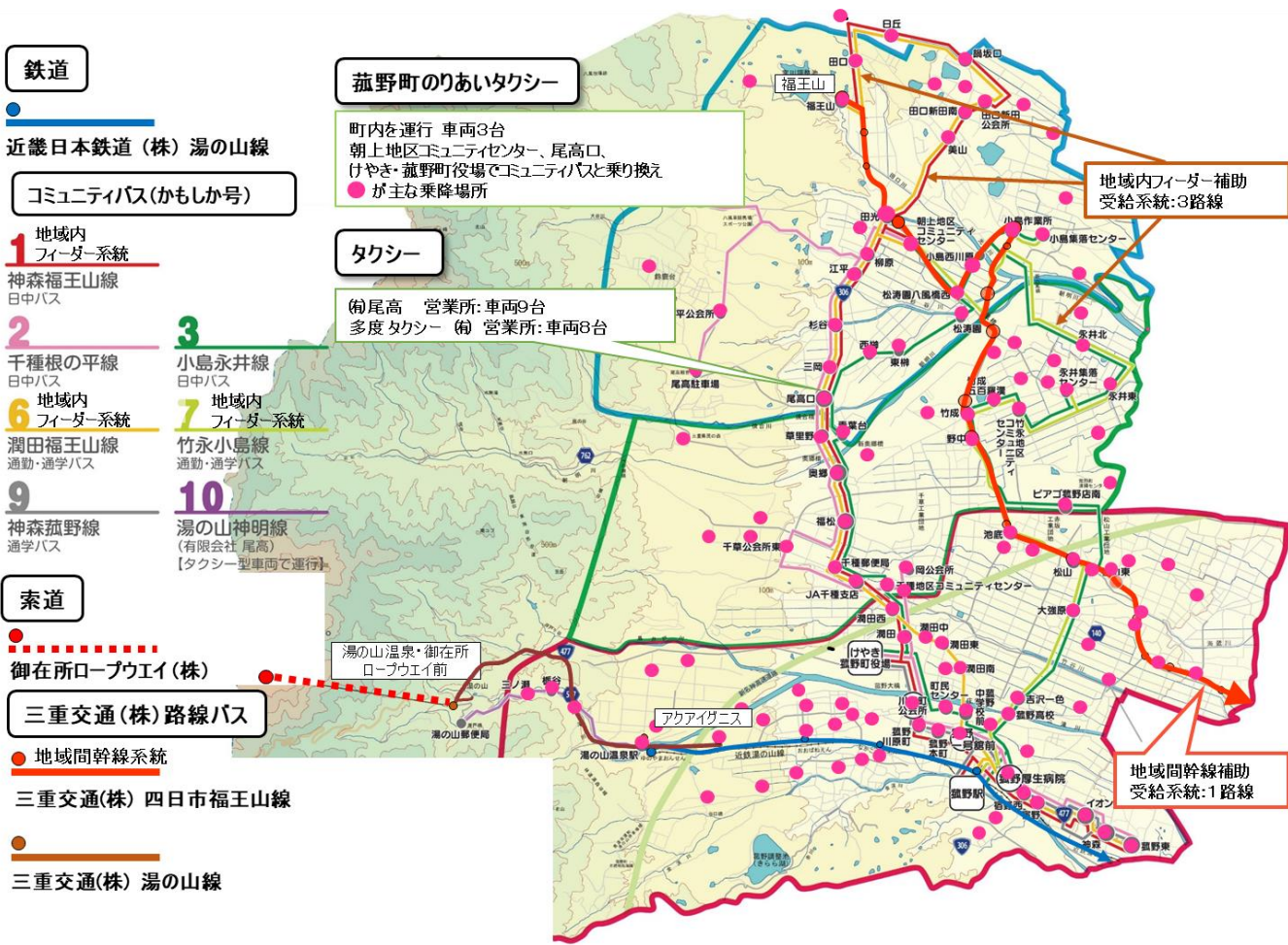
- ・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

■菰野町は、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、ロープウェイ、AIオンデマンド乗合交通である「菰野町のりあいタクシー」などの公共交通が運行しており、高齢者等の移動制約者の買物、通院等のための利用、通勤・通学のための利用に加え、来訪者の移動手段といった目的でそれぞれ利用されている。

■人口の約4割が居住する町南部は鉄道駅などが住居に近接しているため、公共交通に対する満足度は高い。6割の町民が居住する町北部・中部は、公共交通の充実を求める声が高い。

■鉄道駅、基幹病院、保健福祉センター等が町南部に存在するため、町北部・中部から町南部への移動手段の充実が課題となっている。

■朝夕は通勤・通学輸送が主体となり、日中は高齢者の利用が多数を占める。



# 1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

## (1) 菰野町の公共交通

- ・菰野駅を中心に、東西は鉄道（近鉄湯の山線）、南北はコミュニティバスが基幹軸として形成されている。
- ・路線バスは、四日市市と本町を結ぶ地域間幹線系統（四日市福王山線）がある。
- ・のりあいタクシーは、乗降場所から乗降場所まで町内全域を運行している。

## (2) 菰野町地域公共交通計画（令和6年3月策定）

①計画期間：令和6年度～令和10年度（5年間）

②基本方針：公共交通で気軽に

おでかけしたくなるまちを目指して

③目標：

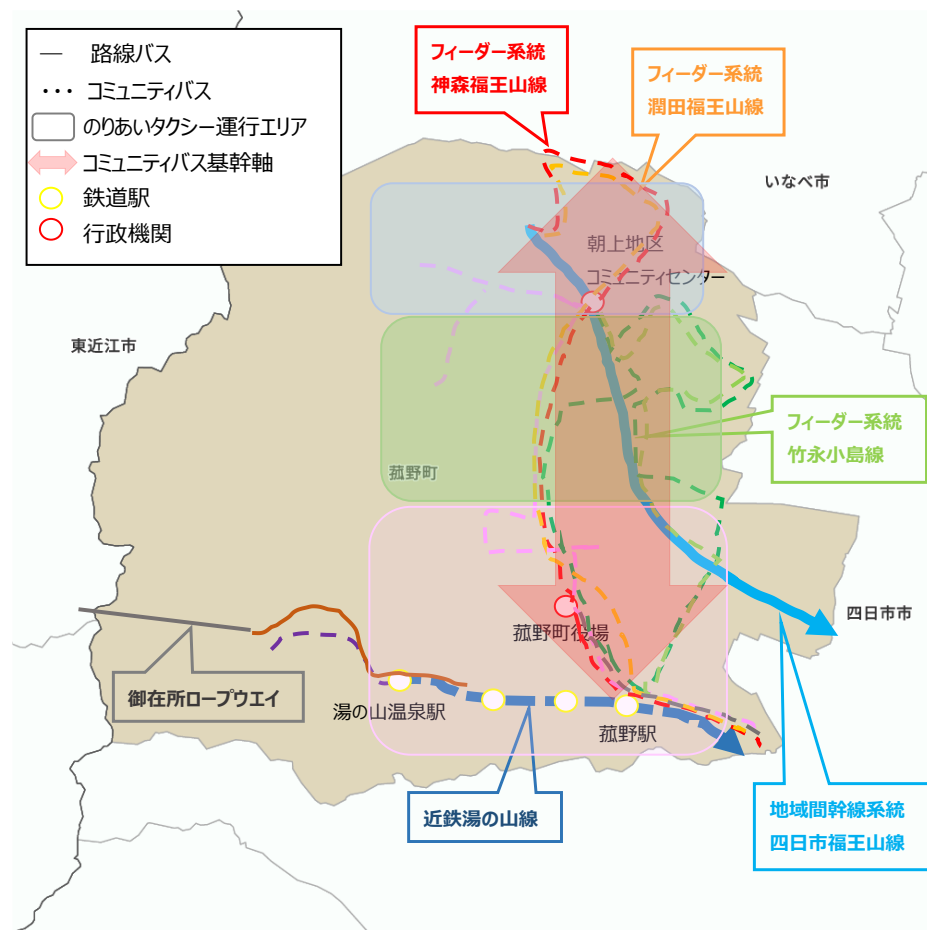
目標1：高齢者が車がなくてもおでかけしたくなるまち

目標2：小中高校生が元気に通学し活動したくなるまち

目標3：来訪者が安心して移動したくなるまち

目標4：様々な人が安全におでかけできるまち

目標5：持続可能な交通体系を持つまち



## 2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

### ■ AIオンデマンド乗合交通（菰野町のりあいタクシー）の運行

平成30年10月運行開始、令和2年10月から町内全域で運行し、町内に設置された297か所の乗降場所相互間を結んでいる。1年間（令和5年10月～令和6年9月）で乗降場所を16か所新設し、利便性向上を図った。



### ■ コミュニティバス通学パンフレットの作成・配布

コミュニティバスを通学手段の一つとして認識してもらうために、令和5年10月に八風中学校3年生及び菰野高校1、2年生（竹永地区又は朝上地区在住）へ「バス通学のすすめ」を配布し、バスの活用を促した。



### ■ 菰野町MaaS「おでかけこもの」の機能充実

#### 及び主要なのりばへの行先案内（デジタルサイネージ）の設置

町民の生活利便性及び来訪者の移動利便性向上を目的とした、乗り継ぎ案内機能、今後の公共交通の見直しのためのデータを集約・可視化するための機能を追加するとともに、町内の主要なのりば5か所に公共交通の行先案内（デジタルサイネージ）を設置した。（令和6年2月実施）



### ■ 保々駅から竹永地区、朝上地区へ

#### 「こもの帰宅支援相乗り交通」の実証運行の開始

町外の駅から帰宅時間帯の移動ニーズの調査を目的に、三岐鉄道保々駅から竹永地区、朝上地区への夜限定の予約制相乗り交通の実証運行を令和6年9月から令和7年2月まで実施する。



## 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

## ◆ コミュニティバス、菰野町のりあいタクシー利用実績

種別	年度（前年度10月～当該年度9月）				目標値 (令和10年度)	考察
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
コミュニティバス利用者（人）	38,937	44,803	49,376	51,792	54,000	日中バスは神森福王山線の増便、通勤・通学バスは菰野高校の正門前の停留所設置による利便性向上により、利用者数が増加した。
菰野町のりあいタクシー利用者（人）	8,040	12,855	17,485	19,087	20,000	区からの要望による乗降場所の新設及び移設、運賃の見直し、パンフレットの全戸配布を行ったことにより、菰野町のりあいタクシーの認知度が向上し、利用者数が増加した。
合計（人）	46,977	57,658	66,861	70,879	—	令和5年度は令和4年度と比較し、6.0%増加した。

## ◆ 地域内フィーダー系統（目標：年間利用者数）

※ 各コースは同じ路線だが、起点又は終点が違うため、フィーダー系統では別路線とみなしている。

路線名	目標 (人)	実績 (人)	対目標値 (人)	対目標値 (%)	達成 状況	考察
1コース神森福王山線 菰野駅 ⇒ 福王山	1,850	2,019	169	109.1	達成	増便に伴う利便性の向上により、利用者数が増加した。
1コース神森福王山線 菰野東 ⇒ 朝上地区コミュ ニティセンター	2,910	2,692	△218	92.5	未達成	目標は未達成だが、増便に伴う利便性の向上により、前年から利用者数は約18%増加した。
6コース潤田福王山線 菰野東 ⇒ 福王山	1,440	1,708	268	118.6	達成	夜間の増便による利便性向上のため、利用者数が増加した。
6コース潤田福王山線 菰野駅 ⇒ 福王山	1,230	1,463	233	118.9	達成	夜間の増便による利便性向上のため、利用者数が増加した。
7コース竹永小島線 朝上地区コミュ ニティセンター ⇒ 菰野駅	5,380	5,733	353	106.6	達成	菰野高校の正門前に停留所を設置、始業時刻に合わせた運行ダイヤにより、利用者数が増加した。
7コース竹永小島線 朝上地区コミュ 菰野 ニティセンター ⇒ 厚生病院	930	1,316	386	141.5	達成	菰野高校の正門前に停留所を設置、始業時刻に合わせた運行ダイヤにより、利用者数が増加した。

	課題	今後の取組方針
コミュニティバス	①目標値の達成に向けた取組	①AIオンデマンド乗合交通との役割分担を明確にし、運行路線の見直しを図る。
	②他の公共交通との乗り継ぎ	②鉄道などのダイヤ変更に合わせて運行時刻の見直しを図る。 菰野町MaaS「おでかけこもの」の更なる利便性の向上と町民への周知を図る。
AIオンデマンド乗合交通 (菰野町のりあいタクシー)	①予約方法の簡易化	①菰野町MaaS「おでかけこもの」の更なる利便性の向上と町民への周知を図る。
	②利便性の向上	②乗降場所の新設・移設、コミュニティバスとの乗り継ぎ場所の追加など、利用方法の改善を図る。
路線バス (地域間幹線系統)	①他の公共交通との乗り継ぎ	①コミュニティバス、菰野町のりあいタクシーとの接続や利用方法の改善を図る。 菰野町MaaS「おでかけこもの」の更なる利便性の向上を図る。
公共交通全般	①公共交通利用促進	①コロナ禍前の利用者数に回帰できるよう、取組を推進する。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	コミュニティバスについて、菰野高校の正門前への停留所設置や始業時刻に合わせたダイヤ設定による通学利便性向上の効果として、利用者数の増加につながっていることを評価します。	菰野高校の生徒が町内のおすすめグルメを紹介し、目的地へのコミュニティバスの停留所やのりあいタクシーの乗降場所を示したグルメマップを作成した。	コミュニティバスの車両を更新する際、外装のデザインの依頼など、さまざまな機会に菰野高校の生徒と連携し、公共交通への関心を高めます。
	菰野町MaaS「おでかけこもの」で乗り継ぎ案内機能追加等の機能高度化による公共交通の利用環境の向上に取り組んだことを評価します。	公共交通の主要な乗りばへ行先案内掲示（デジタルサイネージ）を設置するとともに、今後の公共交通の見直しのためのデータを集約・可視化するための機能を追加した。	菰野町MaaS「おでかけこもの」の予約方法の簡易化や機能を充実させるとともに、菰野町のりあいタクシーのWeb予約率の向上につながる取組を推進します。
	町内の中学3年生へコミュニティバスを通学手段の一つとして認識してもらうため、コミュニティバス通学パンフレットを作成、配布したことを評価します。	コミュニティバス通学パンフレットを八風中学校3年生へ配布するとともに、コミュニティバス1回無料乗車券を併せて配布し、利用促進を図った。	毎年10月頃に八風中学校3年生へバス通学の案内パンフレットを配布し、利用促進を図ります。
	新たに策定される地域公共交通計画に基づき、引き続き、効果的で持続可能な公共交通サービスの確保維持に努められることを期待します。	令和6年3月に「菰野町地域公共交通計画」を策定した。	地域公共交通計画に基づいて、さまざまな事業を展開し、公共交通を使って気軽におでかけしたいまちを目指します。
	今後も地域懇談会などを通じた地域の声の把握や積極的な情報発信に努め、各公共交通に対する認知度の向上や利用促進に取り組まれることを期待します。	7月に町内5地区で地域公共交通に関する地域懇談会を開催し、各公共交通に対する認知度向上を図り、地域住民との意見交換を実施した。	毎年7月頃に地域公共交通に関する地域懇談会を開催し、公共交通の認知度向上に資する取組や地域住民との意見交換を実施することを、地域公共交通計画に掲載しています。

※前回：令和6年3月21日

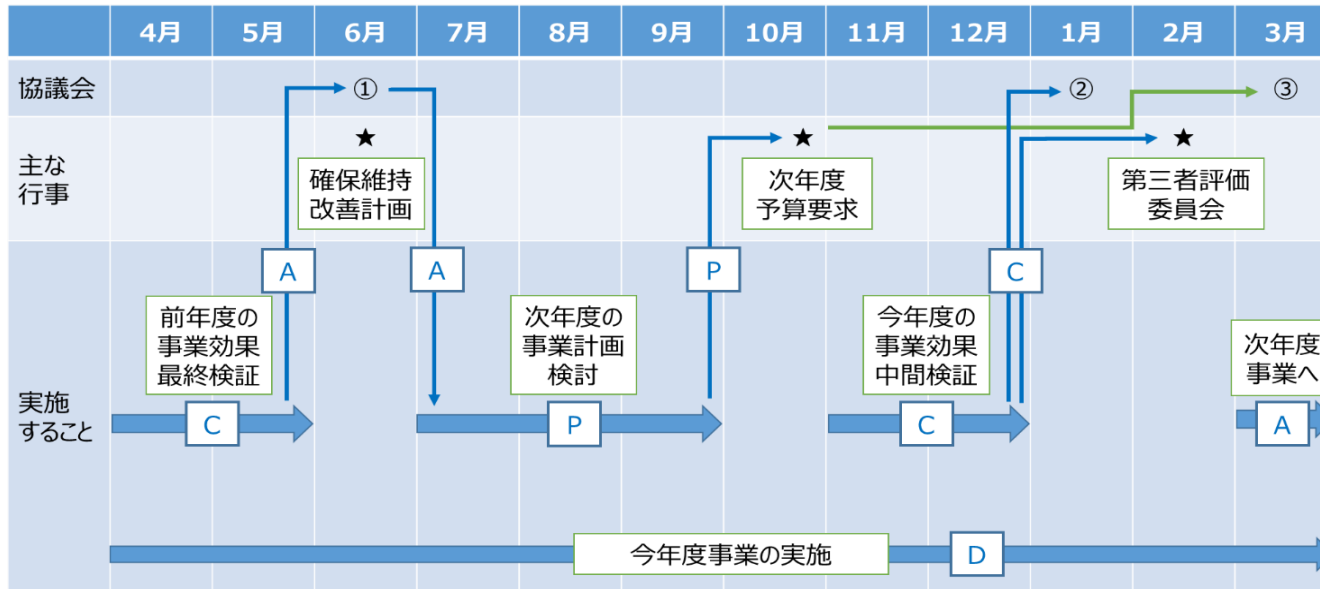
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	<p>町内交通の活性化のため、誰でも簡単に操作できるMaaSシステム（「おでかけこもの」）を導入し、通信事業者や職員の地道な周知活動により、デマンド交通利用者とWeb予約率が大幅に拡大、MaaSシステムを安心・安全利用の向上、観光促進にもつなげた中山間地型MaaS導入モデルを確立された点が令和4年度地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰されたことを評価します。</p>	<p>こもガク祭2023、朝上地区のふれあい文化おこしで「おでかけこもの出張登録会」を開催し、登録のお手伝いとともに、菰野町のりあいタクシーの1回無料乗車券を配布し、利用促進を図った。</p>	<p>菰野町MaaS「おでかけこもの」の予約方法の簡易化や機能を充実させるとともに、菰野町のりあいタクシーのWeb予約率の向上につながる取組を推進します。</p>
	<p>コミュニティバスの運行時刻の変更や菰野高校の正門前への停留所の設置等の運行見直し、コミュニティバス新型車両に菰野高校の生徒がデザインしたものを採用することによりバスへの関心を高めた利用促進を評価します。</p>	<p>コミュニティバス通学パンフレットを作成して八風中学校3年生へ配布するとともに、コミュニティバス1回無料乗車券を併せて配布し、利用促進を図った。</p>	<p>毎年10月頃に八風中学校3年生へバス通学の案内パンフレットを配布し、利用促進を図ります。 また、コミュニティバスを更新する際には、菰野高校の生徒と連携し、バスへの関心を高めます。</p>
	<p>フィーダー補助の要件として地域公共交通計画の策定が必要となります。持続可能な地域公共サービスを実現するため、次年度は、地域公共交通計画策定に向けて、スケジュール感を持って進められることを期待します。</p>	<p>計画策定までのスケジュールを示して地域公共交通会議、幹事会で協議を行った。菰野町地域公共交通計画（案）を作成し、パブリックコメントが12月末で終了、令和6年3月末に策定予定となっている。</p>	<p>令和5年度中に菰野町地域公共交通計画を策定します。</p>
	<p>今後も菰野町MaaS「おでかけこもの」の更なる利便性の向上を引き続き期待します。</p>	<p>「乗り継ぎ案内機能」の改善による、菰野町のりあいタクシーの配車時間の短縮、公共交通の動的な運行情報の提供による、運行の効率化・利用者の利便性向上に取り組んでいる。</p>	<p>菰野町MaaS「おでかけこもの」の機能を充実させるとともに、利便性の向上を図ります。</p>

※前々回：令和5年3月10日



# 6.計画・評価の推進体制

## ◆ 年間の評価スケジュール



## ◆ 協議会の実施状況

- |               |            |  |
|---------------|------------|--|
| 令和5年度第3回協議会   | 11月13日     | 主な議題：令和5年度会計収支補正予算（案）、地域公共交通計画（案）        |
| 令和5年度第4回協議会   | 1月10日      | 主な議題：地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価、地域公共交通計画（案）   |
| 令和5年度第5回協議会   | 3月29日      | 主な議題：令和6年度事業計画及び収支予算（案）、地域公共交通計画（案）      |
| 令和6年度第1回協議会   | 6月27日      | 主な議題：夜限定相乗りタクシー実証実験、地域公共交通確保維持事業に係る計画（案） |
| 令和6年度各地区地域懇談会 | 7月9日～7月20日 | 5回開催                                     |
| 令和6年度第2回協議会   | 10月2日      | 主な議題：地域懇談会の意見について、令和6年度会計収支補正予算（案）       |
| 令和6年度第3回協議会   | 1月14日      | 主な議題：地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価               |
| 令和6年度第4回協議会   | 3月末日       | 主な議題：令和7年度事業計画及び収支予算（案）                  |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月14日

協議会名: 菰野町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
三重交通株式会社	日中バス 1コース 神森福王山線 菰野駅⇒福王山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの運行により、自らの移動手段を持たない移動制約者に対し、買い物・通院等の移動手段の確保を実施。</li> <li>・菰野町のりあいタクシーの運行により、コミュニティバスとの乗り継ぎが可能となり、効率的な運行体系が実現。</li> <li>・各地区にて地域懇談会を開催し、利用者や町民からの意向を把握することにより、今後の運行改善に活用。</li> </ul>	A 当初の計画どおり運行している。	A 年間利用者数 【目標】1,850人 【実績】2,019人 対目標値 109.1% 増便に伴う利便性の向上により、利用者数が増加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道等のダイヤ変更時等に必要に応じてダイヤ変更を実施する。(町、事業者)</li> <li>・菰野町のりあいタクシーの利用状況を踏まえ、コミュニティバスの再編、路線の見直しに取り組む。(町、事業者)</li> <li>・菰野町のりあいタクシーとコミュニティバスとの乗り継ぎ利用を周知し、コミュニティバスの利用促進を図る。(町、事業者)</li> <li>・町北部から菰野駅や菰野高校へ通学する生徒に対し、コミュニティバスの利用を促す取組を行う。(町)</li> </ul>
三重交通株式会社	通勤・通学バス 6コース 潤田福王山線 菰野東⇒福王山		A 当初の計画どおり運行している。	A 年間利用者数 【目標】1,440人 【実績】1,708人 対目標値 118.6% 夜間の増便による利便性向上のため、利用者数が増加した。	
三重交通株式会社	通勤・通学バス 6コース 潤田福王山線 菰野駅⇒福王山		A 当初の計画どおり運行している。	A 年間利用者数 【目標】1,230人 【実績】1,463人 対目標値 118.9% 夜間の増便による利便性向上のため、利用者数が増加した。	
三重交通株式会社	通勤・通学バス 7コース 竹永小島線 朝上地区コミュニティセンター⇒菰野駅		A 当初の計画どおり運行している。	A 年間利用者数 【目標】5,380人 【実績】5,733人 対目標値 106.6% 菰野高校の正門前の停留所設置、始業時間に合わせた運行ダイヤにより、利用者数が増加した。	
三重交通株式会社	日中バス 1コース 神森福王山線 菰野東⇒朝上地区コミュニティセンター		A 当初の計画どおり運行している。	B 年間利用者数 【目標】2,910人 【実績】2,692人 対目標値 92.5% 目標は未達成だが、増便に伴う利便性の向上により、前年から利用者数は約18%増加した。	
三重交通株式会社	通勤・通学バス 7コース 竹永小島線 朝上地区コミュニティセンター⇒菰野厚生病院		A 当初の計画どおり運行している。	A 年間利用者数 【目標】930人 【実績】1,316人 対目標値 141.5% 菰野高校の正門前に停留所を設置、始業時刻に合わせた運行ダイヤにより、利用者数が増加した。	

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月14日

協議会名:	菰野町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>菰野町の地域公共交通は、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、AIオンデマンド乗合交通である「菰野町のりあいタクシー」、ロープウエーが運行しており、高齢者等の移動制約者の買物、通院等のための利用、通勤・通学のための利用に加え、来訪者の移動手段としても利用されている。令和2年10月から町内全域を運行している菰野町のりあいタクシーの乗降場所を新設するとともに、コミュニティバスの増便や運行見直し、停留所の新設などを行い、当町に最適な交通体系の構築を目指す。</p> <p>また、町内の地域公共交通のさらなる利用を促す目的で令和元年度に運用を開始した菰野町MaaS「おでかけこもの」は、コミュニティバスや菰野町のりあいタクシー、鉄道、路線バスなどの経路検索、菰野町のりあいタクシーの配車予約や事前決済を可能としており、多くの町民の方が利用している。この菰野町MaaS「おでかけこもの」の利便性の向上を図るために、さらなる機能拡充に取り組む。</p> <p>令和6年3月には「菰野町地域公共交通計画」を策定しており、「公共交通で気軽におでかけしたくなるまちを目指して」を基本方針として各種施策を展開する。</p>